ふじみ野

No.68
R5. 2. 1 発行
埼玉県ふじみ野市議会

市議会だより

CONTENTS

物価高騰対策と
介護従事者の安全確保へ　2p
国民健康保険の安定運営　4p
連載企画 事業者に聞く　7p
市政を問う！一般質問 17 人が政策論議　8p

働く人シリーズ㊼合気道の指導者

合気道の道場では、子どもから大人まで各自の目標に向かって日々汗を流しています。

指導者は技術の向上だけでなく、合気道の稽古を通して、心身ともに健康で日常生活が充実したものになるように願っています。

令和4年第4回定例会

11/30 ▶ 12/20

第4回定例会では、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金支給のための専決処分の承認、物価高騰や新型コロナ対策事業、介護従事者安全確保対策事業などを含む補正予算や、文化施設、放課後児童クラブ、図書館の指定管理者の指定など、市長提出議案の22件が全て可決されました。また議員提出議案の意見書1件が、全会一致で可決されました。

総括質疑

本会議での質疑をまとめています。

物価高騰対策と介護従事者の安全確保へ

令和4年度一般会計補正予算（第7号）

市税収入の増額補正

問 当初予算時において、個人市民税は過去最高に迫る予算計上額であり、固定資産税については過去最大であった。今回さらに大幅増額となった要因は。

答 本補正では市税合計で約6億500万円の増額補正となった。

個人市民税は当初の見込みより納税義務者の増加及び納税義務者全般に所得割額の増加が見られたこと、分離課税の課税調定額が過去最大になったことにより、約4億5300万円の増加を見込むものとなった。

固定資産税の土地については、国道254号バイパス土地区画整理地区の土地評価額、市域全体の地価、宅地化等開発の想定が現状と異なったことで、約5400万円の増加となった。

家屋については、滅失件数が想定より少なかったこと、大規模物件の税額確定が当初予算積算に間に合わず、見込みより上回ったことで約1800万円の増額となった。

償却資産については、新型コロナウイルス感染症による影響で大規模法人の業績不調から設備投資の減少を見込んでいたが、実際には増加となり約6900万円の増加となった。

また、都市計画税については約1100万円の増加となった。

新型コロナ対策で国から交付金

問 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の充当事業は。

答 物価高騰対策として、消費活性化クーポン給付事業と学校給食費支援事業の2事業を実施している。

消費活性化クーポン給付事業は、物価高騰等の影響により苦境に直面する市内事業所での消費拡大を図るとともに、市民への経済的な支援を図るため、1人当たり3000円のクーポンを全世帯へ配布した。これに約3億9500万円を充当した。

学校給食費支援事業については、コロナ禍における食材費の物価高騰分について公費負担とすることで、保護者の負担を増やすことなく、これまでどおりの栄養バランスや量を保った学校給食を提供している。これに約1400万円を充当した。

また、新型コロナウイルス感染症の自宅療養者に対して、食料品やパルスオキシメーターの配送を行う感染症対策事業に約2800万円、新しい生活様式に対応した児童生徒用タブレット端末の購入や周辺機器等の整備を行う国際化・情報化推進事業に約9300万円を充当した。

介護サービス従事者安全確保対策

問 介護サービス従事者安全確保対策費補助金の内容は。

答 昨年1月に市内で起きた立てこもり事件を受け、安全対策について県と協議を進めた。

その後、県が訪問系サービスの複数人訪問費用と事業所の安全対策にかかる費用の補助を実施することになった。

さらに市が独自に事業所の負担分を補助するものである。

事業所の負担を軽減することで、必要な事業所が補助を利用して積極的に複数人対応を行ったり、安全対策に取り組めるようになることが期待できる。

実施時期は県が行う補助事業と合わせて行う。1月中に補助制度の周知を行い、受付を開始したいと考えている。

上下水道料金の減免

問 上下水道料金の減免の規模と影響は。

答 現在もコロナ禍が長引いており、さらには原油価格や物価高騰などの理由により、生活または経済活動に不安のある市民や事業者がいることから、市民生活及び経済活動の支援の観点から、市内の家庭及び事業所を対象として、水道料金に加え下水道使用料についても令和5年1月及び2月検針分の減免を実施する。

具体的には、請求する水道料金、下水道使用料のうち、それぞれ1万円を上限に減免する。

見込まれる減免金額の総額は、水道料金が約2億390万円、下水道使用料が1億3000万円となっている。減免の実施により、水道料金納付が発生しない方が約97%、全額減免となる下水道使用者は約99%と見込んでいる。

ICTに対応した学校環境の整備

問 タブレットが落下しないよう一回り大きい新JIS対応机を購入するが、児童生徒数に対する充当率は。

答 小中学校の机を購入する際には、新JIS対応のものに順次入れ替えている。令和4年4月1日現在の充当率は、小学校で約52%、中学校で約91%となっている。

今年度は、小学校6年生と中学生の未整備分を対象として計画していたが、GIGAスクール構想により本格的なタブレット端末の活用が始まっており、タブレット端末の利用が多い小学校4年生、5年生の机についても早期に入れ替えを行うため計上した。これにより、小学校4年生以上及び中学校では全て新JIS対応机が整備され、小学校3年生以下の充当率は約38%となる。

◆議案に対する総括質疑

青藍会 原田 雄一 議員
日本共産党 床井 紀範 議員
公明党 川畑 京子 議員
会派外の議員 民部 佳代 議員

条例改正
賛成多数で可決

国民健康保険の安定運営

国民健康保険税条例の一部改正

低所得者に配慮した上で、国民健康保険の適正かつ安定的な運営を行うため、国保税の負担の見直しなどの条例改正が実施されました。

問 平成27年度の改正以来、8年ぶりの改正に至った経緯は。

答 特定健診の受診率の向上、ジェネリック医薬品の推奨や国保税収納率向上、交付金の獲得等に努めてきたが、一般会計から約8380万円の法定外繰り入れ、国民健康保険財政調整基金から約3億7460万円の繰り入れとなり、安定的な国保運営が危ぶまれる状況となった。

医療技術の向上、新薬の開発などにより1人当たりの医療費は増加傾向で、歳入構造の抜本的な見直しが急務であると判断した。

問 国民健康保険税が払えない人への対応は。

答 低所得者層については7割、5割、2割の減免があり、国民健康保険加入世帯のうち半分が何らかの軽減となっている。

問 県内の他市と比較した本市の税率は。

答 かなりの数の自治体がここ数年で保険税率の改定を実施した。なお、本市の税率は県内では比較的低く、本市よりも低いのは、2自治体のみとなっている。

指定管理者の指定
全員賛成で可決

時代の変化に合わせた図書館へ

市立図書館の指定管理者の指定

住民の読書施設、情報の発信拠点など多様な役割が求められる図書館。現在の事業者が引き続き次期指定管理者として指定されました。

問 選定した事業者の評価は。

答 視覚障がい者の利用に対する配慮や赤ちゃんタイムの導入、各種講座の開催など利用者層に応じた事業の提案があったほか、ステラ・ウェスト（西文化施設）への図書館移転後の利用についても新施設の運営に合わせた具体的な計画が示された。

類似施設の運営実績も多くあり、図書館サービスについて十分な知見を有することから、高い評価となった。

問 新たな事業拡充部分と期待される効果は。

答 中学校の図書委員と連携し、「図書のおススメ本」と題した展示等の企画を行い、更なる図書館利用の促進につなげる。

また、大型商業施設でのおはなし会や展示事業の実施など、民間事業者との連携事業を拡充する。

さらに、過去の懐かしい思い出を語り合う回想サロンや終活セミナーなどシニア向けのイベントを開催し、合わせて関連図書を紹介することで、図書館を利用しながら知識を深めたり、仲間と過ごしたりする場を提供する。

その他、モバイルバッテリーシェアリングサービスや電子図書館システムを導入する予定である。

上福岡図書館

条例改正
全員賛成で可決

市職員の定年年齢が延長

職員の定年等に関する条例等の一部改正

市職員の定年年齢を令和5年度は61歳として、以後2年ごとに段階的に引き上げ、令和13年度に65歳定年とします。

問 定年延長の効果は。

答 即戦力としての活躍、若手職員への知見の継承、上司サポートや業務改善などの効果を期待している。

問 現行の再任用制度の取扱いはどのように変わるか。

答 名称が暫定再任用に変わる。

また定年延長に伴って、定年前再任用短時間勤務職員制度を導入する。新たにここで制度設計し、整合性を合わせる上で定年退職者がフルタイム又は短時間の暫定再任用を選べるような制度設計を考えている。

問 2年に一度、定年退職者が出ない年度があるが対応は。

答 継続的で安定した市政運営を進めるためには、業務量の変化や年齢構成などの状況を精査し、短期的には職員の増員なども含めて職員の年齢構成に隔たりがないよう新規職員採用を継続して進めていく必要があると考えている。

財産の取得
全員賛成で可決

プロジェクターの購入

財産の取得について

市内小中学校9校で従来リース契約であったプロジェクターを新たに購入します。

問 今回購入する学校は。

答 小学校は、大井、鶴ヶ丘、東原、亀久保、三角及び西原小学校。中学校は、大井、大井西、大井東中学校の計9校である。

問 仕様と台数は。

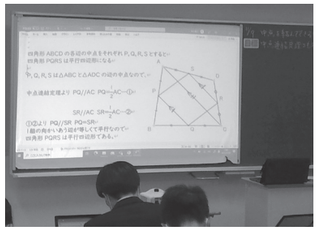
答 体育館や多目的室等で使用するものが各校1台の9台、教室等で使用する80型に映すことができるものが155台となる。

問 購入に当たり重視した点は。

答 GIGAスクール構想において1人1台タブレットで教育活動を進めるに当たり、子どもたちの考えや発表のために作成したものやオンラインによる朝会でなどを映し出してリアルタイムで可視化できることを教育効果として重要視して、今回購入に至った。

問 授業以外での使用は想定しているか。

答 学校運営協議会、地域協働学校、PTA活動など様々な場面での使用を想定している。



指定管理者の指定
賛成多数で可決

文化施設に民間のノウハウを

市立文化施設の指定管理者の指定

ステラ・イーストと10月にオープン予定のステラ・ウェスト（西文化施設）の指定管理者の指定が行われました。

問 指定管理者候補者の自主事業の概要は。

答 施設の複合性を生かす事業、遊びの感覚で楽しめる複合事業や体験ステップアップ事業、鑑賞事業、連携事業などの文化芸術事業を実施する。

問 市と指定管理者候補者との連携事業は。

答 市全体で文化を楽しむ事業や文化芸術に触れる参加・創造事業、生涯学習事業として地域課題の発見・解決事業、地域連携事業、コミュニティ育成事業などを実施する。

問 期待される効果は。

答 アウトリーチやワークショップなど多様なジャンルの講座を市民、団体等とともに、数多く事業を実施することが期待できる。

令和４年第４回定例会の提出議案と審議結果

●全会一致で可決した議案

議案番号	議案名	議決結果	議案番号	議案名	議決結果
第95号議案	専決処分の承認を求めることについて（令和４年度ふじみ野市一般会計補正予算(第６号)）	承認	第107号議案	ふじみ野市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決
第96号議案	令和４年度ふじみ野市一般会計補正予算（第７号）	可決	第109号議案	ふじみ野市立さぎの森小学校校舎大規模改造工事請負変更契約の締結について	可決
第97号議案	令和４年度ふじみ野市国民健康保険特別会計補正予算（第３号）	可決	第110号議案	財産の取得について	可決
第98号議案	令和４年度ふじみ野市介護保険特別会計補正予算（第３号）	可決	第111号議案	ふじみ野市道路線の変更について	可決
第99号議案	令和４年度ふじみ野市水道事業会計補正予算（第２号）	可決	第112号議案	ふじみ野市道路線の認定について	可決
第100号議案	令和４年度ふじみ野市下水道事業会計補正予算（第１号）	可決	第113号議案	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意
第102号議案	ふじみ野市手数料条例の一部を改正する条例	可決	第115号議案	ふじみ野市立放課後児童クラブの指定管理者の指定について	可決
第103号議案	個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例	可決	第116号議案	ふじみ野市立図書館の指定管理者の指定について	可決
第104号議案	ふじみ野市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例	可決	議第4号議案	重度心身障害者医療費支給事業補助金の対象者の拡大を求める意見書	可決

●賛否が分かれた議案

○：賛成　×：反対

議案番号	議案名	議決結果	青藍会								日本共産党					公明党				信政会		会派に属さない	
			坪田敏孝	原田雄一	加藤恵一	小林憲人	山田敏夫	西和彦	大槥守	小高時男	新井光男	床井紀範	足立志津子	伊藤初美	塚越洋一	鈴木美恵	川畑京子	島田和泉	伊藤美枝子	近藤善則	鈴木啓太郎	金濵高顕	民部佳代
議101号議案	ふじみ野市個人情報の保護に関する法律施行条例	可決	○	○	○	○	議長	○	○	○	欠席	欠席	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議105号議案	ふじみ野市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	議長	○	○	○	欠席	欠席	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議106号議案	市長及び副市長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	議長	○	○	○	欠席	欠席	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議108号議案	ふじみ野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	議長	○	○	○	欠席	欠席	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議114号議案	ふじみ野市立文化施設の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	議長	○	○	○	欠席	欠席	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わっていません。

意見書（全員賛成で可決）　重度心身障害者医療費支給事業補助金の対象者の拡大を求める意見書

精神障がい者の医療費助成制度の対象を２級まで広げるため、県に対して補助金の拡充を求めました。

本市では心身障がい者の生活の安定と自立を支援するため、重度心身障害者医療費支給事業を実施しています。またこの事業の実施にあたっては、医療費助成金の５割に相当する額が、埼玉県から補助金として交付されています。

現在、対象となっている精神障がい者は精神障害者保健福祉手帳１級の交付を受けている人のみであり、２級の手帳所持者は対象外となっています。

精神障がい者の医療費負担の軽減は、地域において自立した生活を営むための有効な方策の一つであり、２級の手帳所持者に対しても医療費の助成を行うことが急務となっています。

よって埼玉県においては、重度心身障害者医療費支給事業補助金の対象者を拡大し、精神障害者保健福祉手帳２級の所持者もその対象に加えることを強く求めます。

送付日：令和４年12月20日（主意抜粋）

連載企画 事業者に聞く　常に変化、進化し続けるモノづくり

80年以上の経験と技術を有する地元老舗の金属加工事業者から話を伺いました。

今谷（いまたに）　裕明（ひろあき）さん

Q　仕事の内容を教えてください。

A　船舶や車両用ディーゼルエンジンの部品などを製造しています。旋盤加工、マシニング加工等、複雑形状の鋳物加工が得意分野です。1938年に創業し、1944年に旧上福岡に移転しました。

Q　コロナ禍で仕事に影響はありましたか。

A　令和４年の前半はコロナの影響もあり、仕事の受注がほとんどなく、経営が大変でした。現在は廃業した他業者の仕事をまわしてもらい、納入業者からの受注も増え始めています。

Q　仕事での苦労を教えてください。

A　若い社員が多いですが、金属加工の後継者が少ないことです。また、職人の経験と技術による汎用旋盤はその継承が難しく苦労しています。

社員一人ひとりがそれぞれの仕事をしているので、若手社員の技術をどのように指導していくかも課題です。

Q　市に求めるものは。

A　金属加工の経験や技術のある人材を把握して欲しい。金属加工経験者の人材登録センターをつくり、その派遣などもお願いしたいです。キャリア教育として、モノづくりを位置付けることも必要だと思います。

ギカイの動き

総務・教育常任委員会視察調査報告

学校教育のＩＣＴ活用を調査

総務・教育常任委員会では、令和４年10月24日にＩＣＴを活用した学校教育の取り組みについて、先進地である鴻巣市を視察しました。

また、それに先立ち、本市の小中学校でのタブレット活用について教育委員会から報告を受けました。

ふじみ野市の取り組み

教育委員会では、ＧＩＧＡスクール推進主幹が中心となり、小中学校のＩＣＴ活用を進めています。

具体的には小学２年生がタブレット上の発表ノートを共有しながらグループ学習を行う様子などが紹介されました。

また、タブレット教材を使うことで個に応じた学習が進められるとともに、問題集や資料集など教材購入の負担軽減にもなっているとの報告がありました。

鴻巣市の教育ＩＣＴ基盤整備

鴻巣市では、教材や校務システムを全てクラウド化し、ネットワーク環境があればどこからでも学べる環境を構築しています。また、教職員に固有のモバイルルーターを貸与することでセキュリティに配慮しながら校外からも業務ができるようになり、教職員の働き方改革にもなっていました。

鴻巣市での視察の様子

委員会からの意見

本市でも急速にタブレットの活用が進んでおり、引き続きＩＣＴ活用を推進してほしい。また先進事例を参考に校外でも教職員が業務に当たれるよう、通信環境の整備を検討してほしい。

市政を問う！

一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、17人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。（２月中旬掲載予定）

観光するならふじみ野市

加藤　恵一　議員

問　ふじみ野市歴史アニメキャラクターを活かして公認バーチャルユーチューバーを作っては。

答　公認バーチャルユーチューバーを活用した観光、シティプロモーションで市の公認キャラクターを選定するためには、市民の合意形成が必要である。また、注目を集め続けるために頻繁に話題を発信し続ける必要がある。コンテンツ作成については、多大なコストがかかる。埼玉県のほか、先進事例を参考にしながら研究する。

問　市内の観光スポットにシェアサイクルの設置を。

答　県の計画において、県内各地で観光客が自転車を活用して効率的に巡る施策展開も期待されているので活用できると考える。設置は、運営業者と協議が必要となるので市民などの設置に関する要望に応じて、働きかけを行いたい。

ふじみ野市歴史アニメ　ふじみるん　サラちゃん

ふじみ野市版SDGs

問　SDGsパネル展を開催しては。

答　更なる広がりを図るため、環境フェア等のイベントに併せ、開催することは効果的と考えるので検討する。

教育・子育て支援

坪田　敏孝　議員

問　小学生への学習支援事業についての考えは。

答　他市では民間の力を活用している例がある。民間の力の活用を図っていければと考えている。

問　長時間働いている保護者にとって、子どもの一時預かりは必要と考える。日曜日や夜間の料金減免についての考えは。

答　現在の利用状況やニーズを踏まえ、研究していく。

問　子どもの年齢が上がるにつれ、教育・生活費の支出が増大する。多子世帯にとっては深刻な問題である。支援の考えは。

答　国や県の支援事業を周知していく。

障がい者の販売事業支援

問　障がい者の就労機会の確保についての課題と取り組みは。

答　受入側の障がい者に対する理解不足や環境整備が十分でない場合がある。就労支援員が企業との連絡調整などし、障がいの特性に理解を求めている。

問　障がい者が製造した食品等の市施設での販売についてインターネットで紹介しては。

答　販売予定日を市ホームページ等で周知することを検討している。

子育ての情報を案内
市の子育てガイドブック

うね山公園に安全防護柵を

大築　守　議員

問　歩道のない北側、西側に安全防護柵を。

答　子どもたちが飛び出したら危険なので、令和5年3月までに設置する。

うね山公園

交差点の整備と右折帯の設置

問　旧ＪＡいるま野大井西部支店・ベルク前交差点の改良は。

答　所沢福岡大宮線として、都市計画決定されており、毎年川越県土整備事務所に要望している。当該交差点は都市計画道路、立帰赤土原線が接道する交差点で、優先順位を付け、事業着手していく。土地開発行為など情報が得られた際は、川越県土整備事務所に情報提供し、協議していく。

問　鶴ケ岡地内国道の分離帯についての考えは。

答　南端の削減と二丁目地域の2ヵ所の横断道路開口部の拡張について、川越県土整備事務所と協議する。

インボイス制度

問　個人事業主、零細企業への対応は。

答　適格請求書等保存方式のことであり、令和5年10月1日より開始される。消費税免税業者にとって、適格請求書発行事業者になるか選択が必要となる。商工会と連携して事業者の声を聞きながら、国・県の動向を注視していく。

都市計画道路上沢勝瀬通り線の整備

西　和彦　議員

問　近隣住民が心配する令和5年3月の供用開始後の交通安全対策や用途地域の見直しへの対応は。

答　既存交差点の信号機撤去や新たな交差点の利用に伴う円滑な交通確保や交通安全対策が重要であり、地元自治会や東入間警察署と連携を図り交通誘導看板を設置するなど混乱が生じないよう丁寧に取り組んでいく。

上沢勝瀬通り線

また、用途地域の見直しについては、県と協議等を行い対応していきたい。

公立中学校運動部活動の地域移行

問　スポーツ庁が令和5年度から休日における部活動の地域移行を始め3年間で段階的に進めていくスケジュールを示したが、市の取り組みの考え方は。

答　これまでの生徒の活動を維持発展させていくことを中心とし、豊かなスポーツ活動の実現であると考えている。

今後、学校と地域の連携・協力により子ども達が学校体育から生涯にわたりスポーツ活動に親しみ、楽しみ、人生を豊かにできるような体制づくりのための取り組みを慎重に進めていきたい。

道路環境に係る樹木についての課題は

島田　和泉　議員

問　民地や公的施設など樹木による課題は。

答　道路や民地等の樹木や草刈りの剪定依頼は令和元年度129件、令和2年度179件、令和3年度185件あった。その中で民地から樹木の枝や草が市道へ越境し通行を妨げるといった理由の剪定依頼は多い。

問　樹木に対する課題の相談窓口は。

答　市道の街路樹は道路課、市が管理する公園の樹木は公園緑地課、民地から市道への越境は道路課、空き家の場合は建築課、民地から民地は環境課、農地からの場合は産業振興課が対応している。

問　樹木管理についての条例制定は。

答　民法第233条「竹木の枝切除及び根の切り取り」が改正され、令和5年4月1日から施行される。現行法では竹木の円滑な管理を阻害していた。改正法では枝を切除することが可能となるが、要件の定義や費用についての対応等も課題となる。運用方法も含め条例制定の必要性について研究したい。

大きな樹木

思いやり駐車場の導入を

金濵　高顕　議員

問　市では法令に基づき障がい者専用駐車スペースを設置しているが、高齢者や難病の人、妊産婦やケガをした人など、より幅広い人が利用することができる「思いやり駐車場」が必要と考える。市全体の取り組みとして導入を。

答　必要な準備を進めていきたいと考える。

災害時に利用できるネットワークの構築

問　災害時に通信が不通になることにより、家族と再会が困難になることなどが予想される。避難所である学校に構築されている校内無線LAN環境を、災害時のフリーWi-Fi環境に転用できないか。

答　技術的には可能だが、コストやセキュリティ上の課題がある。しかしながら避難所運営に当たり、災害時に家族皆が安心できる環境づくりは非常に重要と考える。

Wi-Fi環境の整備を含めて安心できる環境づくりに向けて取り組んでいきたい。

多様なニーズに応える窓口を

川畑　京子　議員

問　ワンストップ窓口のおくやみコーナーを設置しては。

答　現在、関係課の多くがワンフロアに集約されている。関係各課との連携協力により、必要に応じて関係各課への職員の同行や事前の電話連絡なども行っているため、ワンストップ窓口と同様に手続きはスムーズに進んでいると考えている。

問　機器を活用した聞こえる窓口を設置しては。

答　市民からの声や他自治体の設置状況、既存の支援システムの利用状況等を考慮し、プライバシーへ配慮しながら窓口での正確で効果的な対話方法について検討していく。

問　デジタル化ツールを活用し、オンライン窓口を設置しては。

答　今後、導入に向けて検討を進めていく。

がん患者へのアピアランスケア

問　若年層へ医療用ウイッグ等の購入補助はできないか。

答　若年層のがん患者の心理的負担は大きく、日常生活に大きな影響を与えているものと推察する。

国や県の動向を注視し、他自治体の取り組み状況を参考に助成事業については研究していく。

自転車の交通安全対策

鈴木　美恵　議員

問　事故の抑制には、交通ルールを守ることが大前提だが、自転車の正しいルールが理解されていない。交通ルールの徹底を。

自転車専用通行帯

答　正しいルールを周知する際や、道路交通法の自転車に関する法改正等があった際に、市のホームページや市報において周知を図る。

問　自転車専用通行帯は自転車が安心して通行でき、自動車を運転する側は注意して通行するという意味で交通安全に効果的だと考えるが、増設される予定はあるか。

答　国道及び県道の管理者である川越県土整備事務所と交通管理者である県警及び東入間警察と協議を行いながら進める。

児童虐待防止対策

問　助けを求める環境整備としてコンビニエンスストアとの連携は。

答　コンビニエンス業界がセーフティステーション活動を展開し、市でも通報を受け子どもを保護したケースがある。引き続きコンビニエンスストアに情報を求めていく。

性犯罪・性暴力のない地域づくりへ

問　専門家による一般向けセミナーを。

答　開催に向けて検討していく。

公共施設予約システムをスマホ対応に

民部　佳代　議員

問　システム画面はスマホでは小さくて見づらく、オンライン決済も対応していない。なぜか。

答　導入から12年経過した古いバージョンであり、更新には初期導入費が1200万円程度かかる。

しかし、使い勝手の向上やオンライン決済は重要課題と認識している。今後、システムの更新を検討する。

スマホで見た予約システム

児童発育・発達支援センターの施設整備

問　現在の施設は元デイサービスとして使用されていたところで、園庭もない。他に課題は。

答　相談室が少なく、児童用トイレも指導訓練室から距離がある。

問　新たな施設が必要では。

答　運営審議会の意見も聞きながら在り方を検討する。

小児インフルエンザワクチンの助成を

問　小児の接種率は。

答　任意接種のため把握していないが、令和2年度は国の補助があり13歳未満の1回接種が68％、2回接種は49・4％であった。

問　通常は全額自己負担で保護者の負担が大きい。助成を。

答　予防接種法上の位置付けを注視しつつ研究する。

一日で終わる手続きも成年後見では一年かかる

鈴木　啓太郎　議員

問　障がい者の保護者が亡くなるなどして一人残されて、遺族年金を受け取る手続きをしようとしても一人ではなかなかできない。どうすればよいか。

答　成年後見制度を利用するのが望ましい。地域生活拠点等の事前登録で準備もできる。その人の状態に合わせて、事前に使える制度を利用することを考えておくことを薦める。

市民の参加を求めては

問　市が行うムクドリ対策で、木づちで街路樹を叩いたり、拍子木を使うことに効果があったと思う。市民の協力を求めては。

答　ムクドリの追い出しやパトロールに市民や商店街の協力を求めることは効果が期待できるので、協力体制構築に向けて有効な方法について検討していく。

国道254号バイパスのまちづくり

問　行政との連携は。

答　10月に土地区画整理組合及び組合員である進出企業から地域に開かれた産業団地についての提案があり、県の計画などとの整合を確認している。今後、関係各課において連携を図りながら協議を進める。

国道254号バイパス土地区画整理

市内の事業者へ継続した支援を

床井　紀範　議員

問　コロナ禍・物価高が続いている。独自支援の継続を。

答　これまで様々な事業を実施した。今年度も消費活性化クーポン給付事業等を実施している。

問　業種や業態に応じた支援の具体化を。

答　今後も引き続き有効な施策を検討したい。

就学援助制度の運用の改善を

問　クラブ活動費1万円の増額を。

答　令和3年度の調査では、県内63市町村のうち、本市を含む5市町村が支給している。増額は考えていない。

問　平均支給額は。

答　本市以外は3万150円を基準としているところが多い。

問　市の1万円と他自治体の3万150円の差をどのように考えるのか。

答　就学援助以外の支援制度についても、子育て支援策を柱に据えて、様々な角度から施策を推進している。

学校給食費の無償化を

問　憲法の義務教育無償化条項の趣旨を踏まえ、段階的な給食費の無償化の実施を。

答　現在検討していないが、就学援助制度等で支援していることを周知する。

旧統一協会と市の関係は

塚越　洋一　議員

問　旧統一協会及び関係団体と市との関係は。

答　行事への参加や事業への後援、挨拶等について調査した結果、関わりは確認されなかった。

大井郷土資料館の常設展示場は

問　大井郷土資料館の常設展示場がなくなるがどうするのか。

答　10月に移転するが、旧大井村役場を週6日開ける常設展示場にする。新施設については、総合的に判断する必要があり、後期基本計画に反映できるか調整中である。

大井総合支所入口交差点の渋滞解消を

問　亀久保旧道の信号機の調整など改善策を。

答　朝夕は1時間に800台超の交通量となるが、400m区間に3つの信号機があり、渋滞の要因になっている。

警察等と連携を図り、要因を分析し渋滞解消に向け考えていく。

バス停の安全確保など

問　危険なバス停や段差など、安全性の確保を。

答　道路幅や用地確保などの課題があるが、バス停の施設整備については、バス事業者や交通管理者等と連携し研究していく。

上福岡駅東口駅前広場等の駅周辺整備

近藤　善則　議員

問　交通結節機能だけで、都市の広場機能がない。駅前広場というより駅前通路では。

答　横断歩道橋の設置及び駅前広場の部分的な整備が完了したことにより、駅前広場が持つ交通結節点としての機能強化が図られた。

駅前広場整備計画は

問　一度整備工事が終わった後に、突如として横断歩道橋を完成させたように、一貫したビジョンに基づいた計画があるとは思えない。計画はあったのか。

答　最終形の駅前広場整備に関する計画は、用地交渉の進捗に合わせて、時代のニーズや駅の利用状況、駅前広場周辺のまちづくりの課題等を踏まえて検討したい。

駅前広場のデザイン基本計画は

問　長崎市の景観に関する検討会議では、駅舎、駅前交通広場、多目的広場、街路等に関するデザインの基本的な考えを取りまとめた計画がある。本市の計画は。

答　駅前広場の整備計画の策定の際には、まちづくりに関する国の最新の指針や時代ニーズ等を的確に捉えた上、自治体、交通事業者や専門家等の多様な主体と連携して取り組む必要がある。

人的サービスを主とする業務発注仕様書の改善

足立　志津子　議員

問　資料館の受付業務などの委託には、施設の設置目的を達成するための具体的内容を盛り込み、また従事者が業務目的を理解するための研修を業務の一環として行ってはと。

答　既に仕様書に業務内容を明記している。施設の設置目的を含めた研修は就業時間内に実施している。

公園樹木の管理

問　防犯上の観点も含めた剪定計画の策定を。

答　定期的な剪定と市民要望に順次対応している。防犯を意識した公園維持に努めている。

こども医療費無料化の拡大

問　入・通院費の無料化を18歳まで実施を。

答　入院の場合は約4000万円、通院は約6260万円の支出増となり、財源的に実施は難しい。

受動喫煙をなくす取り組みの強化

問　歩道橋の通行者もタバコの煙の影響を受ける上福岡駅東口喫煙所は、望まない受動喫煙を防止する観点で改善を。

答　時代的背景などを踏まえながら喫煙所の在り方について考える。

授業に影響ないよう学校備品の整備

伊藤　初美　議員

問　管理の状況は。

答　備品台帳に登録し、年に1回全てを点検し、教育委員会へ報告することとしている。

問　学校からの要望と予算との関係は。

答　児童生徒数・学級数などで配分し、必要性の高い物から教育委員会が検証し購入している。

また、緊急な場合、配分額に余剰が出そうな学校と調整するなど対応している。

インボイス無登録者の入札参加

問　消費税のインボイス制度（適格請求書等保存方式）が10月から導入される。公共入札の参加資格要件とすべきではないと考える。見解は。

答　資格要件としては考えていない。

コロナ感染第8波への対応

問　発熱外来への受診が増加することで医療機関がひっ迫する恐れがあることから、県は有症状者への抗原検査キット無料配布事業を実施していた。第8波に向けて、検査キットの大量確保・配布すべきでは。

答　薬局などで購入できるので、キットや解熱鎮痛剤を準備するよう周知している。

問　自宅療養者への食料等支援の継続を。

答　今年度末まで実施する。

抗原検査キット

不登校児童生徒への対応は

原田　雄一　議員

問　不登校の児童生徒が全国的に大幅に増加している、本市の状況は。

答　令和3年度は、小学校66人、中学校130人である。令和2年度に比べ小学校で26人、中学校で44人と大幅に増えている。

問　児童生徒からの相談体制は。

答　悩みや不安を抱える児童生徒に対して、担任を中心に教育相談担当職員や養護教諭、さわやか相談員、スクールカウンセラーが連携して対応している。

未就園児に対する子育て支援は

問　全国で未就園児は約182万人いると推計され、親子の孤立などを防ぐための支援が必要と考える。本市の未就園児の数は。

答　本市の未就園児は、令和4年6月現在1444人いる。この内0歳から2歳が約9割を占めている。

問　兵庫県明石市では、0歳児見守り訪問「おむつ定期便」を実施し毎月紙おむつを無償提供して、その時に併せて相談等も受けている。本市のプッシュ型支援は。

答　健康診査が未受診の場合には、保健師による家庭訪問を行い、健康面の確認や相談、育児に関する困り事、心配事を丁寧に聞き取り適切なサービスにつながるよう支援している。

魅力的な市の玄関口を

小林　憲人　議員

問　上福岡駅西口脇の市有地について、魅力的な利活用が必要では。

答　市の将来を見据えた検討が必要であると認識している。駅前としてふさわしい適切な維持管理に努め、利活用について調査・検討すべく、関係各課と連携を図っていく。

上福岡駅西口脇の市有地

誰でも楽しめる公園整備を

問　車椅子でも遊べるようなインクルーシブ遊具を公園に導入し、障がいのある子どもが楽しめる公共の場を増やすことが必要では。

答　利用者の関係や設置できる箇所を調査し検討していきたい。

教職員の負担軽減を

問　全国学力・学習状況調査が※CBT化する。対応する人員の確保が必要では。

答　人員の増員が必要なのか、通信等の調整が必要なのかを含めて対応していく。

※CBT＝Computer Based Testingの略称で、コンピュータを使った試験方式のこと。

金融トラブルの未然防止を

問　各年代で、金融リテラシーの向上が必要では。

答　市民生活相談で対応している。

編集委員がインタビュー！

表紙：働く人シリーズに寄せて

合気道の指導者に伺いました

Q 合気道はどのような武道ですか。

A 開祖である植芝盛平翁（うえしばもりへいおう）が日本の伝統武術を究め厳しい修行を経て創設した現代武道で、試合はなく自己錬磨を目的としています。

Q 指導者を志したきっかけは何ですか。

A 幼少のころから合気道の稽古を始めて、指導する父の背中を見ていました。就職するか、合気道の専門指導者を目指すか迷いましたが、父と同じ指導者として生きていくと決めました。縁があって、ドイツで２年ほど修業したのち、帰国して、指導者として生活しています。

Q 指導のやりがいや大変さなどはありますか。

A 楽しそうに稽古している姿を見るのが、指導者として一番嬉しいです。

また、合気道を楽しんでもらうために、伝統的な稽古法を踏まえながら、個々の要望に対応した稽古内容を考えるのがとても難しいです。

コロナの流行で２年以上日常生活が制限されてきましたが、少しずつ出口が見えてきたように思います。新しい時代の幕開けとともに生活の一部に合気道を取り入れていただけると幸いです。

Q 合気道に興味を持った人へ一言お願いします。

A 最近は、ＹｏｕＴｕｂｅなどの動画コンテンツで合気道に興味を持つ方が増えています。

是非一度、道場へ見学に来てください。子どもクラスと大人クラスともにとても柔らかい雰囲気で稽古しています。

気軽に道場にお越しいただきたいと思います。

畑山（はたやま）　弘（ひろし）さん

市議会だよりは、ふじみ野市のホームページからも閲覧できます。
市議会の会議録も見られます。
録画放映やSNSもご覧ください。

ふじみ野市議会　検索

12月定例会の傍聴者は24人でした。

次の定例会の
開会予定：2月20日 午前9:30～

請願締切予定：2月10日 午前10:00

市役所４階議場で開催します

議会広報常任委員会

委員長	加藤　恵一	副委員長	鈴木　美恵
委員	鈴木啓太郎	委員	金濵　高顕
委員	民部　佳代	委員	新井　光男
委員	床井　紀範		

市議会議員による時候のあいさつ状、寄附行為等は、法律で禁止されています。ご理解をお願いします。

表紙の題字を書いてくれた人

大井西中学校３年　宮内（みやうち）　優月（ゆづき）さん

ふじみ野

ふじみ野市は、医療や買い物などの施設が整っていて、交通アクセスも良いです。私も家族や友人とショッピングモールによく訪れます。また学校の周りは自然が豊かで、春の桜の季節はとてもきれいです。

編集後記

世界で起きる様々な出来事が私たちの暮らしに影響を及ぼします。特にウクライナの戦争がもたらしたものは計り知れません。物価の高騰や急激な円安、エネルギー危機から原発政策の転換、かつてない防衛費の増額など私たちの生活にまで大きな変化をもたらしています。他にも終わらないコロナ禍、地球温暖化や気候変動、イランのヒジャブをめぐる問題や大国の海洋進出、北の国のミサイルなど、色々なことが気がかりですね。

では、私たちの地域から発信することはどのようなことがあるのでしょうか。私たちの暮らしにある豊かさと価値を、人々の幸福をどう世界に示していくことができるでしょう。少しでも良い街にするために、そんなことを考える新年です。

（鈴木　啓太郎）

編集・発行／埼玉県ふじみ野市議会
〒356-8501 埼玉県ふじみ野市福岡1-1-1
TEL 049-262-9046　FAX 049-269-4847（議会事務局）